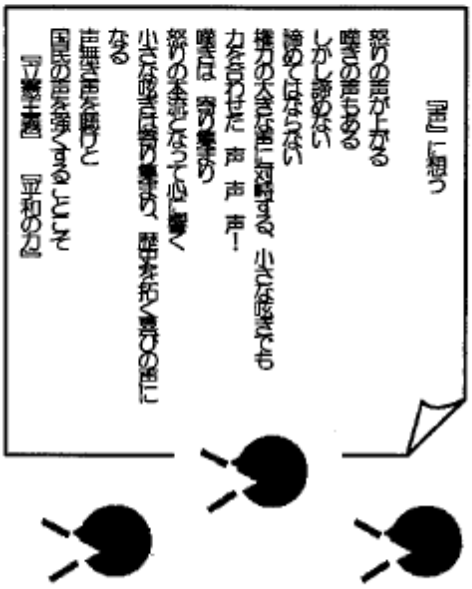
仙南九条の会連絡会がニュースを発行しましたので紹介します。

仙南9条の会連絡会 情報紙 声 創刊号

仙南9条の会連絡委会
代表　鈴木詔一
連絡先:担当丸山
TEL (080-8203-7447)
2020年5月10日 発行



戦争のない平和な日本を あらゆる運動を粘り強く

2017年5月3日、安倍首相は突然、「憲法9条に自衛隊を明記する」、「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。再び「戦争する国」へと戦後75年間に対する180度の転換です。私たちはこの安倍首相の愚かな暴走を許すわけにはいきません。そもそも、安倍首相に憲法を語る資格そのものがありません。憲法遵守の義務があるのに平気で憲法を破壊していく安倍首相の発言など言語道断です。安倍自公政権はモリカケ問題から桜を観る会まで、ウソ・ゴマカシ・公文書の偽造など国民を欺き民主主義と立憲主義を破壊する政治をいまだに続けています。このような政権に日本の未来を託すことなど到底できません。

平和な日本、未来ある日本を次の世代に引き継ぐため、私たちは多くの市民とともに、安倍自公政権の一日も早い退陣と、そしてそれに替わる民主的な野党連合政権の誕生をめざし、あらゆる運動を、粘り強く、最後まで諦めず、希望をもって活動していく決意です。

＜連絡会代表　鈴木　詔一＞

仙南九条の会連絡会の歩み

（1）仙南全域に「九条の会」を立ち上げることを決意

安倍内閣（第一次2006.9）は、「戦後レジームの脱却」を唱えて「憲法改悪」を柱に戦後の民主主義を根こそぎ覆そうとする政策を打ち出してきました。このとき、安倍内閣に真っ向から立ち向かい、日本の平和と民主主義を守ろうと知識人が先頭に立ち正義と良心に燃え、平和を守る声を上げました。それが「九条の会」でした。その呼びかけによって、私たちも平和と民主主義を守る運動として、それぞれの地域で「九条の会」を立ち上げました。その結果、安倍内閣は一年足らずで失脚しました。このとき（2006年）仙南では、角田市、白石市、柴田町、大河原町で「九条の会」が結成され、講演会・学習会・宣伝行動など多様な活動が展開されました。それぞれの地域で単独におこなったり、共同で行うものもありました。

そして、宮城県各地にも取り組みが発展していきました。仙南地域で「九条の会」を広げる声が強まり、近隣の地域に呼びかけました。　私たちは、議会制民主主義や立憲政治をも蔑ろにするアベ政治をこれ以上許しておけないと、取り組みを一層強める決意を固め、仙南地域挙っての決起集会を持つことと仙南全域に「九条の会」を立ち上げることを決意しました。2015、4.4えずこ大ホールで大決起集会を成功させるとともに、仙南地区全市町（2市7町自治体）に「九条の会」を結成しました。

＜柴田町9条の会　代表　畑井　馨＞